ようこその書館へ

第26号

2019年4月津市図書館



おもな内容

P1~P2…わくわくとしょかんまつり

P3……知ろう私たちの郷土

P4……レファレンス事例集、おすすめの本

うぐいす図書館 わくわくとしょかんまつり



うぐいす図書館では、2018年(平成30年) 7月14日(土)にわくわくとしょかんまつりを 開催しました。

このイベントでは、本は単に「読まれる」 ものとしてではなく、工作など実際に体験し て本の楽しみ方を知っていただきます。

宇宙人とともだちになりたい!

児童向けの「ちびっこアーティストたちの ふしぎなびじゅつかん」は、参加した子ども たちが、うぐいす工作室のアーティストになっ て、ふしぎ美術館に展示する作品を作るとい う設定でした。



津市図書館ホームページ http://www.library.city.tsu.mie.jp/

300 300 300 300 300



美術館の展示テーマは「宇宙人とともだちになりたい」で、個々に仲良くなりたいと思う宇宙人を想像して、ベースのお面に書いたり貼ったりして宇宙人の顔を完成させました。

お面は目の部分が丸くくりぬいてあり、その 裏側に奥行き2センチの浅いダンボール箱をの り付けし目玉を貼ることで、ふしぎな事が起こ るしかけを加えました。

別室のふしぎ美術館に全作品を展示して、左から見たり、右から見たりすると、見ているほう に作品の目が動く(ように見える)不思議な作品ができあがり、まるで宇宙人が生きているかの ように見えました。

作品は 1 週間展示して、参加者以外の図書館利用者の方々にも、作品のおもしろさに興味を持っていただくことができました。



お性ながわらった!

一般向けの「てぶくろ人形『おはながわらった』をつくりましょう」は、乳幼児期のお子さんとふれあいながら遊べるおもちゃを作りました。これは、とても簡単な工程で作ることができる手芸で、てぶくろの指の先に、顔の刺繍をしたフェルトの花を付けます。それぞれの作品は、なんとなくその人に似ていたり、指1本ず

つの表情を変えたり、オリジナルの工夫がなされてできあがりました。

最後に、作りたてのてぶくろ人形を手にさして、『おはながわらった』の歌にあわせて、参加 者のみんなでお互いに花を見せて、手遊びを楽しみました。

参加者の方々からは「作ってみたかったので、このような機会があってうれしかった。」など の感想をいただき、子どもとふれあい遊べる方法を知っていただくことができました。

例年「わくわくとしょかんまつり」として、地域のボランティアの方々と連携し、夏は工作編、 秋は読書編の年2回、それぞれ一般向け、児童向けの2部構成で実施しています。興味を持って くださったら、次回のイベントでお会いしましょう。

郷土史の原典で

と「稲垣文庫 |の測量術関係資料 川上裕子

「稲垣文庫」には、『規矩要法』(稲L51-1)という当時 使われていた測量術に関する資料が所蔵されている。 著者は伊勢津藩士の村田佐十郎光窿である。タイトル の「規矩」とは当時「規矩術」とも呼ばれていた西洋 から伝わった測量の技術のことで、「規しはコンパス、「矩し は曲尺(直角定規)を指している。この西洋の測量術が 日本に伝わったのは寛永年間(1624~1644年)頃で、長 崎の天文学者でオランダ語に通じていた樋口権右衛門も この技術を学んだ。彼の弟子として「規矩術」を学んだ 測量家清水貞徳によりまとめられた「清水流測量術」が 秘伝として師から弟子へと受け継がれていたが、後に伊 勢国の測量家村井昌弘により『量地指南前編』が、彼 の死後に『量地指南後編』がそれぞれ出版されるとそ の技術が世間に知られるようになったという(『江戸の理 系力』より)。

それでは、この『規矩要法』について見てみよう(写 真(1)・(2))。



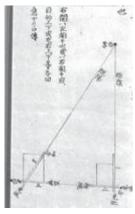
まずは、この資料を記した 伊勢津藩士で和算家でも あった村田佐十郎光篠(延享 四(1747)~天保二(1831) 年)について簡単に紹介した い。彼は、江戸で当時有名 な和算家であった本多利朝に 学んでおり、『精要算法解』(有 1289~1293/L419)の校閲も

写真①『規矩要法』表紙 行なっている。「規矩術」に ついては、江戸の大工棟梁で「規矩術」に優れていた 溝口林卿に学んだという。そして、光窿が記した「規矩 術 | に関する資料の一つが、この『規矩要法』である。 この奥書によると、明和四(1767)年に光窿が記し、文政 四(1821)年に稲垣定穀が書写したものである。定穀は 稲垣家五代目当主で「稲垣文庫」の資料を収集した中 心人物であり、光隆が和算を学んだ本多利明と交流が あったため、この資料を書写することが出来たと推測さ れる。

ちなみに光隆は、幕末の津藩士で和算家でもあり、 伊勢湾沿いの地形の測量を行なった村田佐十郎恒光の 相父で、恒光に和算や測量術を教えた人物でもある。

次に資料の内容について見てみよう。「規矩術」で使

う語句の説明と基本の測定方法など三十三の項目に ついて記している。 例えば、真っ直ぐな距離(平面か)



写真(2)

の測量方法を記した「平町ノ 矩」(以下、下線部は原資料 からの引用である)の部分で は「先ツ目的ヲ定メ」ることや、 「見盤ノ右面ニ定木ヲ當テ目 的ヲ見込ムナリ」、「定木ヲ後 面ニ當テ開キ場ヲ見通シ立 ル印ヲ定メ(以下略)」という ように手順を文章で説明しつ つ、写真②のように図を使っ

て表している。他には建物や木、土地、海路などさ まざまな場所の測量方法について記している。

「稲垣文庫」には他にも、測量機器の一つである コンパス (根發)を使う『規矩元法根發傳秘事圖解』 (稲51-4)、建物や山などの測量方法について記し た『規矩要法秘訣抄』(稲44-19)、『規矩要法聞書』 (稲51-12)など、「規矩術」に関する資料が20点以 上所蔵されている。いずれも『規矩要法』と同様に、 語句の説明や測量方法について文と図を交えながら 説明しており、文章だけでは伝わりにくい部分も図を 見れば伝わるように工夫されている。これらの資料が 「稲垣文庫」に所蔵されているのは、定穀が関心を 寄せていた学問の一つが地誌(地図)であり、実際に 地図の作成などを行うために「規矩術」が必要であっ たからと推測される。

こうした資料から、定穀や『大日本沿海輿地全図』 で有名な伊能忠敬など、当時の人々が学び利用して いた測量術について、その一部を伺うことが出来る。

主な参考文献

梅原三千·西田重嗣著『津市史』第3卷(昭和36年)、津市民文 化編集委員会『津市民文化』5号(津市教育委員会 昭和53 年)、市古貞次〔他〕著『国書人名辞典』第1·2·4卷(岩波書店 平成5·7·10年) 津市図書館『稲垣文庫仮目録』(平成13年)、 「日本国語大辞典」編纂委員会編『日本国語大辞典』第3巻・第 4巻(小学館 平成13年)、洋泉社編『江戸の理系力』(洋泉社 平成26年)

立成小学校の開校年はいつか?

久居市記念誌「悠久の風」(市制施行35周年 平成17年3月久居市発行) 第3章[久居市通史]中1972(昭和47)年4月の項目に「立成小学校の開校(成美小学校からの 分離独立)」との記述があります。

また、「久居市史 下巻」(昭和47年3月久居市発行)の第5章第4節二「小学校のあゆみ」の 「成美小学校」中「昭和四十七年には野村に分校を設置する運びとなった」との記述があります。

~図書館員のおすすめの本~

「服を 10年買わないって決めてみました」 どいかや/著 白泉社

服が好きで、ある時、服で家があふれんばかりになっていた。そこではたと気づいて、服を10年買わないこ とに決めて、リメイクしながら毎日を楽しく暮らす絵本作家どいかやさんのシンプルライフ。アイディアがいっ ぱいのイラスト・フォト・エッセイ。

自分のもっている服のことや物を大事にすることなど、環境について、改めて考えるきっかけになります。

「小学生になったら図鑑」 長谷川康男/監修 ポプラ社

この図鑑を読んだら、小学校が楽しみになってくるよ。

えんぴつの持ち方や友だちとなかよくなる方法など、入学前に知りたいことや、 小学校に入ってからも役に立つことがたくさんつまっています。

全てのページに大人向けの情報ものっています。



開館時間・休館日などのご案内

館(室))名及び所在地	開館時間	館(雪	室)名及び所在地	開館時間
津図書館 ☎229-3321	西丸之内23-1 津リージョンプラザ内	平日/9:00~19:00 土·日曜日、祝·休日/ 9:00~17:00	安濃図書館 ☎268-5822	安濃町東観音寺418 津市サンヒルズ安濃内	10:00~18:00
久居ふるさと文学館 ☆254-0011	久居東鷹跡町2-3	平日/9:00~18:00 土·日曜日、祝·休日/ 9:00~17:00	きらめき図書館 292-4191	香良洲町2167 津市サンデルタ香良洲内	9:00~17:00 (7・8月の平日は18:00まで)
ポルタひさいふれあい図書室 ☎254-0464	3 久居新町3006 ポルタひさいふれあいセンター内	平日/10:00~21:00 土·日曜日、祝·休日/ 10:00~18:00	一志図書館 ☎295-0116	一志町井関1792 津市とことめの里一志内	10:00~18:00 (7:8月の平日は19:00まで)
河芸図書館 ☎245-5300	河芸町浜田782	10:00~18:00	うぐいす図書館 ₂ 262-5000	白山町二本木1139-2 津市白山総合文化センター内	平日/10:00~18:00 土·日曜日、祝·休日/ 9:00~17:00
芸濃図書館 ☎265-6004	芸濃町椋本6824 津市芸濃総合文化センター内	9:00~17:00	美杉図書室 ☎272-8092	美杉町八知5580-2 津市美杉総合文化センター内	9:00~17:00
美里図書館 ☎279-8122	美里町三郷51-3 津市美里文化センター内	9:00~17:00	休館日(全館	馆共通) 火曜日·毎月最終木曜年末年始(12月28日	

※特別整理期間(年1回、14日以内)などで、臨時に休館することがあります。 詳しくは、図書館カレンダー、津市図書館ホームページなどをご覧ください。

津市図書館ホームページ及び携帯版ホームページ http://www.library.city.tsu.mie.jp/



本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第26号

発行日/平成31年4月1日 編集及び発行/津市教育委員会事務局津図書館 三重県津市西丸之内23番1号 津リージョンプラザ内 ☎(059)229-3321